

# 樹土愛樂の夏

2015  
夏  
第18号

## みんな大好き芝生!



### 芝生って?

#### ◆ 夏芝と冬芝

芝生は、大きく分けて、暖地型芝草と呼ばれる「夏芝」と寒地型芝草の「冬芝」の2つに分類されます。

#### <夏芝（暖地型芝草）>

温暖な気候が適しており、生育気温は25℃～30℃。春から秋に成長、夏に生長が旺盛です。冬は休眠して枯れた状態になります。



#### <冬芝（寒地型芝草）>

涼しい気候が適しており、生育適温は15℃～20℃。0℃以下でも冬枯れすることなく、寒さに強い芝草です。高温多湿に弱く夏枯れをおこす場合もあります。

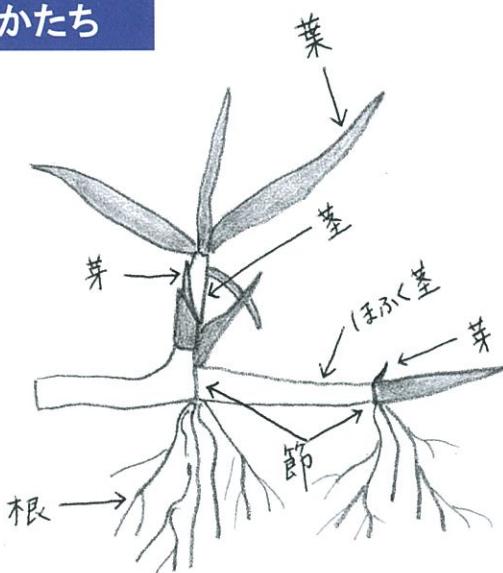
#### ◆ 日本芝と西洋芝

芝生の分類で、日本芝と西洋芝に分類することもあります。日本芝＝夏芝ですが、西洋芝＝冬芝の分類は正しくありません。西洋芝には夏芝もあります。

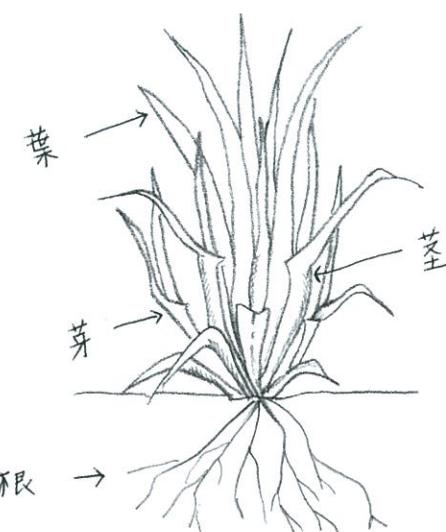
芝種	夏芝（暖地型芝草）	冬芝（寒地型芝草）
西洋芝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バミューダグラス（ティフトン）</li> <li>・セントオーガスチングラス</li> <li>・センチピードグラス（ティフブレア）</li> <li>・バヒアグラス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペントグラス</li> <li>・ケンタッキーブルーグラス</li> <li>・トールフェスク</li> <li>・ペレニアルライグラス</li> <li>・ファインフェスク</li> </ul>
日本芝	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コウライシバ</li> <li>・ノシバ</li> </ul>	



### 芝生のかたち



ほふく茎を持つ芝草



ほふく茎を持たない芝草





## ピックアップ公園情報！

## ＜浜名湖ガーデンパーク＞



高さ50mの展望塔



浜名湖ガーデンパークは、総面積5.6haという広々とした敷地を持つ花と水と緑の県営都市公園。西側エリア、街のエリア、里のエリアの3つのゾーンそれぞれに趣向を凝らした花風景が楽しめます。中でも花の美術館（花美の庭）は「花の庭」と「水の庭」で構成され、「花の庭」では春から秋に、チューリップ・バラ・ひまわり・コスモスなど多種多様な花々が楽しめ、「水の庭」では、春から夏にかけてスイレンの花を楽しむことができます。5月中旬から下旬の花の美術館のバラのアーチ通り抜けの時期の庭園風景は来園のお客様の感動を誇ります。

公園の中央に位置する高さ50mの展望塔からは浜名湖の景色が一望でき、晴れて空気の澄んだ日には富士山を見ることも。また春と秋には展望塔下の花ひろばに描かれた花の地上絵を楽しむことができます。

6月中旬から9月下旬は高さ3mまで吹き上がる噴水やポンプ型遊具のある水遊び広場がちびっこたちに大人気。水あそび広場から花の美術館を結ぶ運河を15分かけてクルージングするガーデンクルーズも見逃せません。園内中央の広大な芝生広場に寝ころんでお昼寝してみるのも一興です。



- 所在地/ 浜松市西区村櫛町5475-1
- 電話/ 053-488-1500
- 入園料/ 無料
- 展望塔/ 大人300円、小・中学生200円、70歳以上200円
- ガーデンクルーズ/ 中学生以上 片道600円、3歳～小学生 片道300円
- 駐車場/ 1800台 無料
- 定休日/ なし ※12月29日～1月3日は休園
- ホームページ/ <http://www.hamanako-gardenpark.jp>



## 浜松市“緑”と“花”的仕事紹介！

＜静岡県芝草研究所＞ 磐田市富丘678-1

静岡県芝草研究所では、県民生活に芝生を取り入れ、“ふじのくに”の芝生文化の創造を図る『芝生文化創造プロジェクト』に平成24年度から取り組んでいます。プロジェクトは、「芝生緑化の促進」と「研究調査」の両輪により、県内に芝生地を広げることを目指しています。「芝生緑化の促進」については、公益財団法人静岡県グリーンバンクなどの芝生緑化関係団体と連携し、公園や学校などで芝生緑化を促進するため、普及啓発や芝生緑化の支援の取組を進めています。研究所において年3回のシリーズで芝草管理を学ぶ芝草管理講座は、毎年募集定員を上回る申し込みがあり、好評を得ています。また、研究所では芝生が上手く育たないなどの相談も受け賜っております。「研究調査」については、芝生を活用した公園、校庭等の緑化を促進するため、常緑性、耐踏圧性が高く低コストで管理しやすい芝生の研究調査を進めています。保育園やグラウンドなど実際に使用している場所を試験地としたり、研究所内の圃場にも各種芝草を植栽し、調査をしたりしています。ご興味のある方は、是非一度研究所を訪問してみて下さい。（研究主幹 池村嘉晃Ph.D.）



芝草管理講座にて



芝草の品種比較



保育園の園庭を芝種品種試験地に



管理手法の提案





## 公園の仲間たちの紹介

## ＜公園管理ボランティア＞



浜松公園緑地協会のOB・OGで構成された「公園管理ボランティア」は、平成25年度から開始し、現在11名（男性5名、女性6名）が、緑化推進センター、万葉の森公園、浜松城公園、佐鳴湖公園などで活動しています。

年に4回程度開催される会合で意見交換を行い、活動日を決め、園内の落ち葉清掃や花壇植替え、花柄摘み、浜松公園緑地協会が主催するイベント補助などを行っています。

“お客様が気持ちよく公園を利用できるように”という思いで結成されたメンバーで、活動日にみんなに会うのも楽しみの一つ！！

公園で見かけたときは、ぜひ、声をかけてくださいね！！



## ＜メリケントキンソウ＞

### ◆ 芝生の敵。メリケントキンソウ

最近メディアでも取り上げられ、知名度があがってきましたが、「メリケントキンソウ」という草を知っていますか？

夏も近づき青い空の下、公園で野球やサッカー、ピクニックなど楽しんでいる人を多く見かける季節になってきました。芝生の上で寝っころがったりすると気持ちがいいものです。しかし、芝生に手を付くと、「痛っ!!!」となったことはありませんか？  
そう、これが「メリケントキンソウ」です。

メリケントキンソウは、キク科の一年草で、南アメリカ原産の帰化植物です。好きな場所は、日当りのよい公園、河川敷、ゴルフ場など。草丈は、5~10cmと低く地面を這うように生えています。



—遠くから見れば緑の濃い芝生に見えても、実はメリケントキンソウが隠れている！—

### ◆ 厄介なのはトゲ

果実の先端部が尖り、5月~6月ごろに硬い棘（トゲ）になります。  
この棘が痛い！靴の裏や野球のボール、自転車や車のタイヤにも突き刺さるほど硬い棘です。  
この棘が利用者の靴や車のタイヤなどに刺さり、知らないうちに次から次へと勢力を拡大しているのです。今のところ有効な駆除策がなく関係機関では苦慮しているそうです。

### ◆ 私たちができること

公園などで楽しく遊んだあとは、靴の裏を見て下さい。ほら！トゲが刺さってる！  
勢力を拡大を抑えるように、靴についてトゲを取って帰りましょう！！



ほらっ、靴底に！





## みどり関係イベント情報

イベント名	開催日時	開催場所	問合せ（市外局番 053）
凧作り	7月19日(日)	遠州灘海浜公園	浜松公園緑地協会☎411-6687
自然観察会	7月26日(日)	浜松城公園	浜松公園緑地協会☎411-6687
こどもまんようまつり	8月2日(日)	万葉の森公園	万葉の森公園☎586-8700
みどりの夏まつり	8月6日(木)	みどり～な	みどり～な☎426-2300
春野パターゴルフイベント	8月7日(金)～8月23日(日)	春野ふれあい公園	浜松公園緑地協会☎411-6687
浜松まつり会館フェスタ	8月23日(日)	浜松まつり会館	浜松まつり会館☎441-6211



自然観察会



みどりの夏まつり



こどもまんようまつり



浜松まつり会館フェスタ



## 芝生の種類



ノシバ

葉幅が広い。耐寒性は大で、乾燥・踏圧・病虫害に強い。  
(公園、ゴルフ場ラフ)



コウライシバ

日本で広く使用。葉幅はノシバより細く、きめ細かい芝生。  
(家庭、ゴルフ場グリーン)

※写真はヒメコウライシバ



セントオーガスチン

葉先に丸味有。強健な性質。  
成長速度大、耐陰性・耐踏圧大。  
上向伸長が少なく、刈回数小、  
緊密に被覆し雑草の進入を防ぐ。  
(公園、ゴルフ場)



センチピードグラス (ティフブレア)

葉幅は細小。耐寒性・耐塩性に優れる。緊密な芝生形成により雑草の進入を防ぐ。  
(ゴルフ場ラフ、河川敷、法面)



ペレニアルライグラス

葉裏に光沢がある。葉幅は細。  
成長速度大。耐陰性・耐寒性小。  
夏の高温に弱い。  
(ゴルフ場ラフ)



ケンタッキーブルーグラス

葉は扁平。葉色は暗緑色。  
耐寒性大だが、高温に弱い。耐踏圧・損傷に強く回復力大。  
(公園、ゴルフ場フェアウェイ、ラフ)

## 一般財団法人 浜松公園緑地協会

〒433-8122

静岡県浜松市中区上島三丁目27-12

TEL:053-411-6687 / FAX:053-464-7274

e-mail hamamatsu.p-g.asso@coral.ocn.ne.jp

URL http://www.hama-park.or.jp/

樹土愛樂 発行日:2015. 6. 30 年4回発行

編集後記：今年も暑い夏になりそうです。炎天下から樹木の下に入るとヒンヤリ、汗がひくという経験はありませんか？なぜか涼やかな風がふいている。それは樹木たちが枝を広げ、たくさんの葉をつけ、健全に生きているからこそ受けられる恩恵です。地球温暖化への対策のひとつは「緑を守り・育てること」でもあるのかなと思います。今回特集の「芝生」も地球環境にやさしい素材であることは間違ひありません。(み)

